

コクゾウムシの自動計数法と自動体長計測法 — 食品害虫管理のための画像解析技術の利用 —

特徴

省力



安定



大量
解析

コンピュータ利用の利点

背景

IPM*に関する技術開発

- 害虫の生態理解
- 検知判別技術
- 防除技術

*IPM:総合的病害虫管理

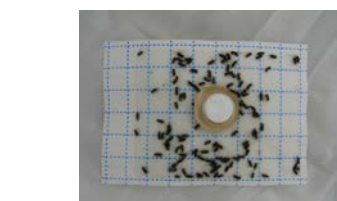
防除

監視

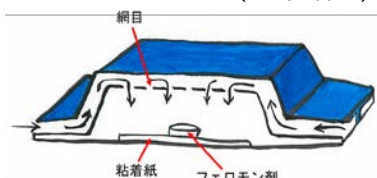
環境整備

IPMの概念

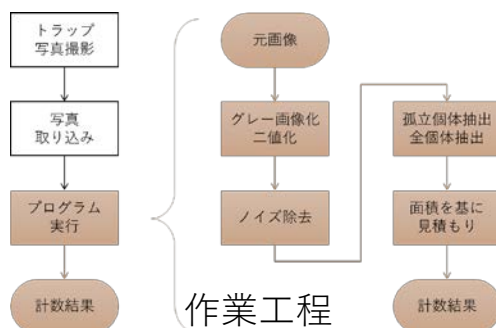
トラップに捕獲されたコクゾウムシの自動計数法の開発



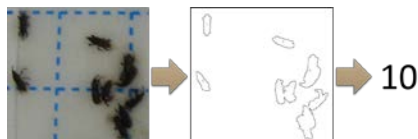
トラップに捕獲されたコクゾウムシ（元画像）



トラップ模式図



作業工程



適用対象

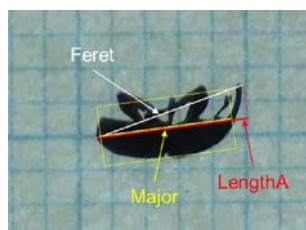


コクゾウムシ

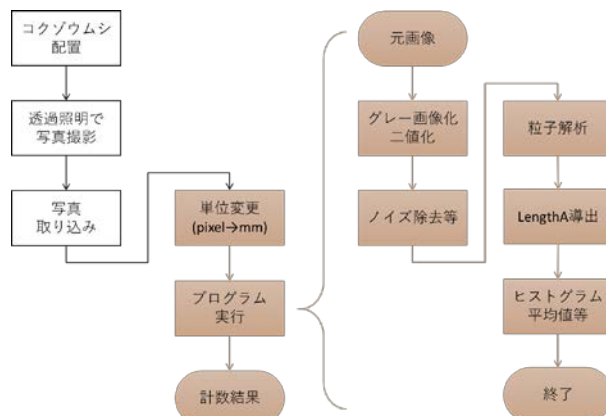


ノコギリヒラタムシ、
コクヌストモドキ等
でも可能

ゾウムシ類成虫の自動体長計測法の開発



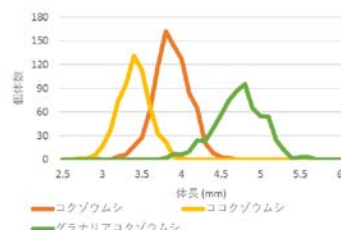
体長の定義
(LengthAを採用)



作業工程



元画像例



結果例

参考

- ・ 曲山他、農研機構研報食品部門、1, 9-17 (2017)
- ・ 曲山他、都市有害生物管理、7(1), 1-9 (2017)



農研機構
食品研究部門

代表研究者: 曲山 幸生
所 属: 食品安全研究領域
食品害虫ユニット

問い合わせ先: 交流チーム: 029-838-7980